

伊勢湾の栄養管理と水産資源における気候変動対策について考えるシンポジウム

参加費
無料

先着
100名

近年、伊勢湾では、海苔の色落ちや漁獲量の減少、藻場の消失が発生しており、生物に必要な栄養不足や海水温の上昇等が課題となっています。これらの課題を解決するためには、各組織で実施している施策の推進や新たな展開を見据えた情報共有が重要となります。

今回のシンポジウムでは、水産資源の回復に向けた栄養塩の在り方やブルーカーボンを活用した気候変動対策について、学識者・行政・漁業者等と議論を交わし、近い将来の伊勢湾について考えます。

日時

令和5年 9月27日(水)

14:00~17:00 (開場 13:30)

会場

ホテル津センターパレス

5階 伊勢の間 (定員160名)
(三重県 津市大門7-15)

申し込み

参加をご希望の方は、

①氏名(ふりがな)

②ご所属

③メールアドレス をご記入のうえ、
下記のアドレス宛に送信してください。

pa.cbr-isewan-saisei@mlit.go.jp

プログラム

主催者・来賓挨拶

基調講演 (30分)

「ブルーカーボン生態系と

先導的な取り組み事例について」

ジャパンプルーエコノミー技術研究組合 理事長 桑江 朝比呂

話題提供 (40分)

「三重県流域下水道の栄養塩管理運転の調査結果について」

三重県 環境生活部 大気・水環境課水環境班 係長 小林 紀有起

「のり養殖の現状とJブルークレジット®認証申請について」

鳥羽磯部漁業協同組合 戦略企画室 室長 小野里 伸

パネルディスカッション (80分)

コーディネーター：青木 伸一

大阪大学

名誉教授

パネリスト：鈴木 輝明

名城大学大学院総合学術研究科

特任教授

松田 浩一

三重大学大学院生物資源学研究科

教授

桑江 朝比呂

ジャパンプルーエコノミー技術研究組合

理事長

小野里 伸

鳥羽磯部漁業協同組合戦略企画室

室長

大野 愛子

鳥羽市海女・フォトグラファー

会場案内図



◇お問い合わせ先 中部地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 宇野・小長井 TEL.052-209-6329

主催：国土交通省中部地方整備局・三重県